

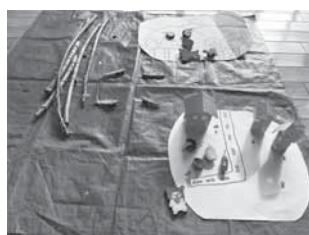
3/4 下川小 6年生 下小っ子議会を開催しました

これまで9人の町内外の皆様「環境」「持続可能な生活」「福祉」をテーマにお話を聞き、「下川町を住みやすくし隊」としてありたい下川町の姿を考え、自分たちができることを企画、実施してきました。町長、議長、教育長、関わったゲスト6人の皆様に提案を行いました。



環境

「釣りゲーム」



下川町の廃材を使い、ヤマメやシマエナガなどの下川に住む動物などを手作りし、子どもから大人まで楽しめる

釣りゲームを作りました。裏面には名前が書いてあり、生き物の生態を詳しく知ることができる一覧表もあります。

今後の理想

- ・釣りゲームを美桑のパイプハウスに置く
- ・森の生活の人に動植物について教えてもらう機会をつくる
- ・自分でも釣るアイテムを作れるよう、パイプハウスに廃材や道具を置いておく

その他ビジョン達成のアイデア

- 1 釣りや森林マラソンなど、森の中で若い人が楽しめるイベントを企画する
- 2 池の水を抜き、きれいにしたり生き物を観察したりする活動をする
- 3 下川の木を使い、ブランコを作ることで森に親しむ機会ができる

持続可能な社会と生活

「貼り絵でカントリーサイン」



新しいカントリーサインデザインを考え、チラシや裏紙から様々な色をちぎり、アイスクャンدلやスキージャンプなどの絵柄を貼り絵でつくりました。どんな年齢の人でも参加ができ、会話をしながらみんなで作品をつくるチャレンジは、達成感を感じることができます。

今後の理想

- ・貼り絵をみんなに見てもらえるように公共施設に貼る
- ・下川町のオリジナルカントリーサインの下絵を募集し投票する
- ・町民みんなで切り絵カントリーサインをつくる

その他ビジョン達成のアイデア

- 1 自分たちの手でアスレチックをつくる
- 2 小さな地球をつくり、自分たちのまちづくりについて考える
- 3 新しい名産物を考える会を開く

福祉

「ピクトグラムを使った地図づくり」



様々な世代の人が、どこで人との交流をもっているのかをマップにしました。ピクトグラムをつくり、誰にでもわかりやすい地図を心掛けました。どんな世代の人がどこを利用するのかわかり、交流が生まれやすくなると思います。

今後の理想

- ・町の施設で地図活動を続け、完成版を下川町HPに公開をする
- ・町中スタンプラリーを実施する
- ・イベントを開催する際、どんな年代がどこに行くのかの参考にしよう

その他ビジョン達成のアイデア

- 1 あけぼの園で「長寿クイズ」をし、年配の人と若い人の交流を図る
- 2 要望BOXを設けて、自分のやりたいこと、やってもらいたいことをマッチングする
- 3 得意なこと教室を実施することで、町民同士が得意なことを教え合い交流する

共 育 に ゆ ー す



下川小学校・中学校 まちへの提言 2022

2/25 中学3年生 まちづくり提案発表会

総合的な時間で学習を進めてきたふるさと学習の成果として、町長、議長、教育長を招いた発表会を行いました。6班から、観光やエネルギー、施設建設など幅広い提案がなされました。



1 班

SNSで知名度UP

SNSの活性化に着目した理由

- ・情報化社会
- ・若い人の目に留まるように
- ・下川町を広めるために一番早い方法

#(ハッシュタグ)をつけることで、下川町の情報を若い人に広く早く伝えることが出来る。また英語での#もつけることでSDGsの発信もできる。

2 班

パーキングエリア

効果(町民) フリースペース

利用しやすい!!

リクエスト

インパクトある木造のパーキングエリアをつくることで、町内外の人に下川の魅力を発信できる。

3 班

アイスクャンدل大作戦

アイスクャンدل制作のイベント化 →「自分たちも携わった」イベントへ

町民の参加を増やすために.....

子供向け「アイスクャンدلを作ろう!」という企画

アイスクャンدلの後継者を増やし、下川をPRするために、若者向けのアイスクャンدلづくりイベントを開催。大通りのアイスクャンدل設置で町全体の統一感を。

4 班

下川町役場の移転

○新しい役場に対する提案

- ・防災拠点としての役割
- ・総合グラウンドあたりの広い土地
- ・横に長くして階段を減らす
- ・ピクトグラムで誰にでもわかりやすく

役場を誰でも使いやすい場所にするために、階段を少なく、防災拠点として機能するように建て替える。ZEB認証取得し、エネルギー収支ゼロを目指す。

5 班

雪を生かしたまちづくり

下川町への提案

雪を冷房として利用する

冬に雪を貯め、夏に活用する

たくさん降る雪を生かし、夏の冷房として利用できないか。旭川市の科学館等、道内での実施事例もあるので、参考に。

6 班

テレワーク施設の導入

北海道 下川町のつもろに導入したテレワークルーム「テレワークルーム」 9:00-19:00まで開放

感染症対策でテレワーク需要が増加。町内の人々が快適にテレワークをするために、コモレビを利用し、売店、Wi-Fiを整備する。町外の人々も仕事ができるようになるのでは。